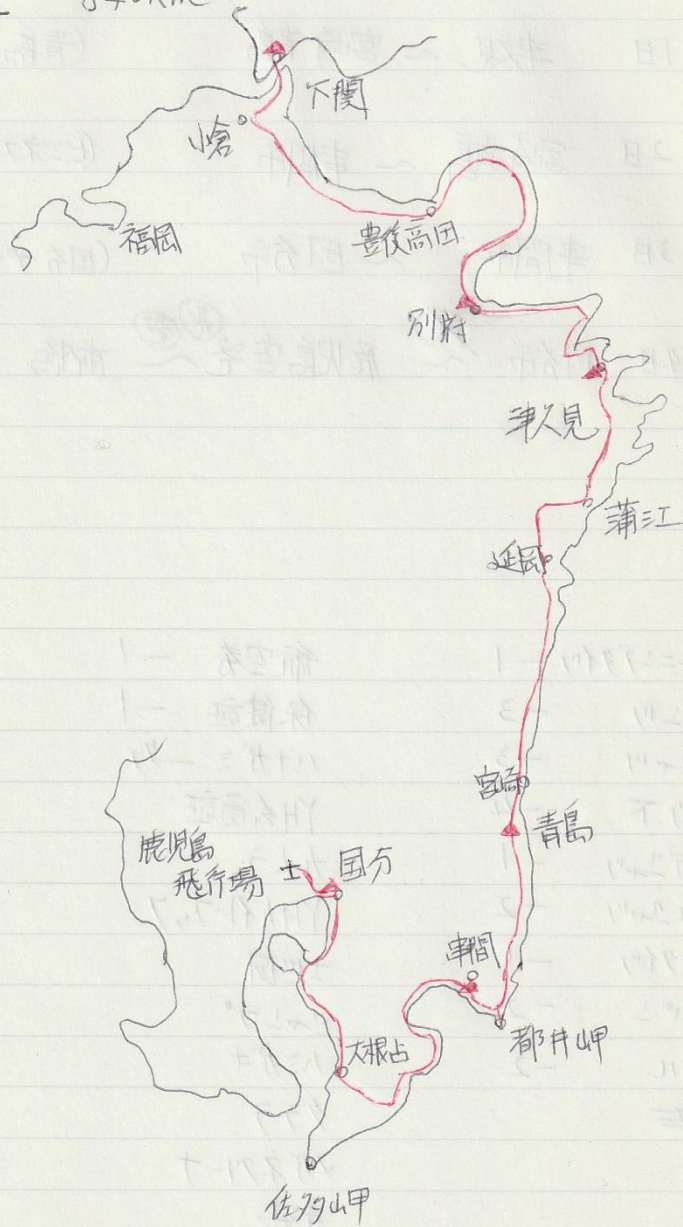


# 九州 東海岸 (下関<sup>大</sup> 鹿見島)

1986年 12月29, 30, 31 日      6泊7日  
1987年 1月1, 2, 3, 4 日

費用 手 120,390—

走行距離 840km



\*\*\*\*\*  
 \*\* チャリンコ旅日記 No.11 \*\*  
 \*\* Resistance Of My Mind 19911015 \*\*  
 \*\*\*\*\*

【1986年 12/29日 から 1/4日 下関市から(大分)鹿児島市 840Km】

【12月29日(月)】 晴 走行距離 17Km  
 (電車)前橋市 → 東京 → 下関市 走行時間 1時間24分

4:40	新前橋駅 着	14:56	新下関駅 出る
5:12	出る ¥20500-	15:35	下関駅
8:12	東京駅 出る 駅弁 ¥940-	54	赤間神宮
	ひかり121号 博多行き		コヒ ¥200-
14:08	新下関駅 着	16:20	下関火の山YH 着 YH ¥2200-

本当は、昨日スタートするはずだった。ところが、27日の午前会社での出来事。28日から30日のうち2日間は、全員出勤しなくてはならない事態になった。私は、正月の行動予定でずっと九州へ行っていることになっている。そして上司も、私が休暇の多くを旅行に当てていることを知っているためか、28日の1日だけ出勤することになった。

諦めてはいたが27日は、もう何もする気がしない。昼休みに社外に出て昼食を取り、銀行へ行って旅費をおろした。すでに昼休みの時間を過ぎてしまい、会社に戻ってから、半日分の有給休暇を出した。周囲の者は、俺が休日出勤の事で怒り出したと、思ったことだろう。偶然に昼休みを10分位遅刻しただけなのに。

父に送られ、車の暖房が効かないうちに到着した暗く沈んだ新前橋駅。改札口、券売機のシャッターは、重く降りたまま。冷たい椅子に座っている私に、時折冷たい風が昨年の今ごろの思い出を運んでくる。昨年も、ちょうど今時分、ここで旅の不安と戦っていた。5時12分の始発に乗り、8時12分のひかり121号博多行きに乗る。昨年と変わらぬ時刻表。でも、俺の心は、少しは大きくなっている。

駅が目覚め、下関までのキップを買って、重い自転車を担いで温かい電車に乗り込む。僅か数人の乗客に10両近い車両。これも本庄、熊谷辺りから混雑を始める。

東京から新幹線に乗る。混雑を予想していたが、意外にすいている。真っ白に化粧した富士山を右手に見ながら、駅弁の朝食を取る。今日一日は、下関への移動日。

【12月30日(火)】 曇り

走行距離 199Km

下関市 → 豊後高田市 → 別府市 走行時間 10時間6分

6:25	起床 紅茶 ¥100-	11:21	豊後高田 休み
7:07	YH 出る	52	出る カトソン ¥550-
12	関門海峡 人道入り口下関側	12:27	竹田津港
18	" " 門司側	13:06	休み ヨーカン、トマトジュース
45	門司駅	15	出る ¥200-
54	休み	50	国東町
56	出る	14:09	休み ジュース ¥100-
8:08	小倉駅	16	出る
24	休み 朝食 ¥400-	15:13	杵築市塩浜 ジュース ¥100-
35	出る セブンスルブソ	19	出る
9:01	荻田町 休み	50	日出町
05	出る ジャパン-脱ぐ	16:19	休み
15	行橋駅	24	出る
10:11	中津市	17:13	別府YH 着 YH ¥2600- ジュース ¥200-

朝6時過ぎに起きて、食堂のストーブの前で紅茶を飲みながら今日の行程を思い巡らしている。窓からは、空色に融けてしまいそうな関門橋。そして、何気なくめくる新聞の音。緩やかに揺らめくストーブの炎。まるで、何日も前からここにいる様な、ゆったりとした時を楽しんでいる。そんなYHを朝食なしで7時に出発する時に、ペアレントさんが私に「以前にこのYHに泊まった事があるでしょうか？」と聞いてくれた。私は「今年の正月に、お世話になりました。」とすかさず答え、ペアレントの温かさを感じていた。

関門海峡は、海底トンネルを渡る。エレベーターで地下へ自転車ごと降りて、幅3メートル位の人道を自転車に乗って行く。エレベーターで再度地上へ上がり、通行料を払う時になって、小銭がなくて管理人に両替を頼んだら「またここを通るのでしょうか？後でいいですよ。」と言ってくれた。私は「旅の途中だから通らないですよ。」と答えたら、「後でもいいから、また通ることがあるでしょう？その時に、今日の分を払ってくれればいいですよ。」と言ってくれた。ありがたい。

この日、目的地に到着したのは夕方5時過ぎ。お腹がすいて、体に力が入らない状態でたどり着いたYHで、夕食に4杯もごはんを食べた。

【12月31日(水)】 雨/晴

走行距離 87 Km

別府市 → 白杵市 → 津久見市

走行時間 4時間50分

6:30	起床	11:30	別府YH 出る
7:00	別府YH 出る すぐ戻る	12:20	大分市 腕まくり
58	// 歩いて出る	49	休み 弁当 ¥500-
8:33	別府駅 バス ¥300-	13:02	出る
9:01	高崎山 入園 ¥300-	45	佐賀関
58	// 出る バス ¥150-	14:04	休み ヨカハジュース
	晴れ間 チャンポン ¥450-	13	出る
	YHに戻る	50	白杵市
		15:08	白杵磨崖仏 入園 ¥500-
		30	出る
		16:14	津久見駅
		20	寿旅館 素泊 ¥3000-
			夕食 ¥1200-
			ケーキ ¥680-

天気が悪い事は昨夜のテレビで承知していた。しかし、YHを出発したとたん雨は降り出したのには閉口した。すぐにYHに引き返して雨の上がるのを待った。1時間程待っても雨は上がらず、諦めてバスで別府市内から3 Km程離れた所にある高崎山へサルを見に行くことにした。

高崎山は野性サルの餌付けで古くから有名で、観光地化している。別府駅からバスで10分位で高崎山に到着。入り口で入園料300円を払い、整備された山道を上り始める。ほどなく、広場に到着、サルがたむろしているのが見られる。餌付けの時間は何回かに別れていて、その時間によって、餌付け場所に山から降りてくるサルの群れが変わると言う。高崎山には、いくつかのサルのグループがあり、強い群れは長い時間広場にいる。力の弱い群れはその時間が短くなり、餌場に降りてこられない群れもあると言う。サルの群れが一緒に行動する事はなく、強い群れが食事を終えて餌場からいなくなるのを山の木影からじっと見守っている。

1時間ほど高崎山でサルを眺めていると、雨が上がり青空が雲の切れ間に見え出してきた。急いでYHに戻り、雨上がりの濡れた道を、津久見市に向けて走りだしたのは、11時30分。急速に天気は回復し、暖かい日になった。

津久見駅前でビジネスホテルに入ったら生憎休み。そこで旅館を教えてください、その旅館に泊まる。行き当たりばったりの宿探し。宿が決まり大晦日の晩餐は、小さな町の料理屋で独りでビールを飲んでいた。

【1月1日(木)】 晴

走行距離 233Km

津久見市 → 延岡市 → 宮崎市

走行時間 11時間44分

6:00	起床	12:25	市棚駅
57	旅館 出る	37	休み
7:35	上浦町	41	出る
44	津井	55	休み ハン ￥2800-
8:14	佐伯駅 カリメト	13:09	出る
30	出る ￥590-	20	延岡市 祝子川
9:04	R388に乗る 道迷う	23	出る
31	大中尾トンネル	14:10	日向市
35	畑野浦トンネル	29	休み ジュース ￥100-
10:07	高山トンネル	38	出る
15	休み 峠	15:18	都農町 ジュース ￥100-
19	出る	25	出る
22	蒲江港	55	高鍋町
31	素堀のトンネル	16:26	休み ハンバーガー、ジュース
48	越田尾トンネル	37	出る ￥300-
52	出る 丸市尾	17:14	宮崎市
11:20	峠 宮崎県境	18:08	休み 夕食 ￥960-
42	休み ジュース ￥100-	30	出る 暗くなる
45	出る	41	青島YH 着
12:14	R10に出る		YH ￥1700-
			ジュース ￥300-

旅を始めて何故か1月1日は、悲惨な走りになってしまう。今年も例に漏れず200Kmを越える走行になった。朝7時に津久見市の旅館を出発して、宿泊地の青島YHに到着したのは、夕方6時40分。有に11時間40分近くを自転車に乗っている。この間、休息は100分程。バックの中の地図と道路標識を頼りに、ただ走って走って目的地を目指すだけ。風が冷たいだの、お尻が痛いだの、お腹がすいただのと思いながら。そして女性の事が、しきりに脳裏に浮かぶ。自分の夢は、自分だけで頑張れば何とかなるが、相手のいる事はどうにも難しい。苦しみながらも、自転車をこぎ続ける限り目的地に必ず到着するが、女性はどうにもならない。どうにも出来ない。

青島YHの風呂で、足を延ばしマッサージしながら一日の労を癒している。朝から暗くなるまで走り続けた苦しみ、疲れが湯船の中に融けて行く。どうにもならない悲しみは、YHの仲間と酒を酌み交わして忘れて行く。ペアレントはちょっと太めのおばさん。

【1月2日(金)】曇り/雨

宮崎市 → 日南市 → 串間市

走行距離 105Km

走行時間 6時間27分

6:45	青島散歩 曇り	12:28	塩屋 休み 10.5km
9:03	YH 出る	37	出る ¥260-
16	堀切峠	39	幸島
19	休み フェニックストライクイ	46	出る
26	出る	13:48	都井岬
43	伊比井駅 トカ弁当 ¥450-	59	出る
56	出る	14:36	峠
10:08	サテ園 入場 ¥300-	15:02	雨宿り
47	出る みやげ ¥21900-	12	出る
11:30	日南市	20	串間駅
53	南郷町 雨が降りそう	15:30	ビジネホテル中村荘 ¥4000- 食料 ¥2090-

今日のコースで見たい所が二つあった。一つは幸島のサル。高崎山のサルに並んで有名な所。特に、イモを洗うサル、海で泳ぐサルとして注目されている。それは、餌付けの為に与えていたイモを、ある日若いサルが海水で洗って食べるようになり、その方法がほかのサルにも広まって行った。これは、汚れた物を洗う事より塩味の味覚に引かれたらしい。

雨の降り出しそうな天気の中、幸島の対岸にはお昼に到着した。本当は、幸島に渡りたかったが天気が心配なのでやめた。渡し船の先導さんと少し話をしただけで先を急ぐ。

天気は、ますます悪くなっている様で、今にも雨が降り出しそうな天気。雨の降らない内に行けるだけ目的地に近づこうと、ペースを上げる。その甲斐虚しく、とうとう、都井岬のゲートで雨が降り出した。都井岬まで後少しなのでそのまま走る。都井岬には野生馬が多く生息している。野生馬と言っても本当の意味の野生ではなく、江戸時代に放牧されたものが、自然のまま飼育継がれて残ったもので、日本古来の馬の形が良く保存されている場所だ。その馬の歓迎をゲートを過ぎてすぐに受ける事が出来た。車を止める馬、窓から首を突っ込む馬。

【1月3日(土)】曇り/晴

走行距離 187Km

串間市 → 垂水市 → 国分市

走行時間 10時間23分

6:07	ビジネスホテル 出る 真っ暗	11:05	内の牧
46	志布志町 薄明るい	36	田代町
7:16	大崎町	53	大根占町瀬戸山
32	東串良町 パン、ジュース ¥300-	58	出る
42	出る	12:02	大根占
8:43	内之浦町 カットン ¥500-	53	荒平神社
59	出る 曇り	56	休み ジュース ¥100-
9:25	内之浦ロケットセンター	13:03	出る 火山灰
36	出る	53	垂水市 ラーメンライス ¥450-
57	岸良 ジュース ¥100-	14:13	出る
10:01	出る	15:58	国分市広瀬西
50	峠 休み	16:11	国分駅
52	出る	30	国分プラザホテル ¥4000- 夕食 ¥2800-

昨夜の雨もすっかり上がり、朝6時まだ暗い内にホテルを出発する。自転車のライトを頼りに大隅半島の海岸に沿って走る。1時間も走ると明るくなってきて、辺りの景色が分かるようになる。

大隅半島の海岸の山の中に、内之浦宇宙ロケットセンターがある。内之浦町から40分程山を上り詰めた所にある。センターでは、なんと、桜がちらほらと咲き始めている。後日、テレビのニュースで聞いたが、ここの桜をロケット桜と言い開花が早いそうだ。

峠を越えて、鏑江湾に出ると、湾を挟んで西の方に三角形の綺麗な山が目についた。その時はその山の名前さえ知らず、来年にはあの山の所へ行けるなあ、と思っていた。鏑江湾に沿って桜島に向かって北上する。時折、あの山の方を振り返りながら。桜島に近づくに連れて、火山灰が顔に当たるようになる。車が走っても、火山灰を巻き上げながら走り去る。桜島を過ぎたら、火山灰も気にならなくなったが国分市のビジネスホテルに着いてから、風呂で頭を洗ったら、砂が出てきた。鼻も顔も真っ黒になっていた。

【1月4日(日)】 晴

走行距離 12Km

(自転車) 国分市 → 鹿児島空港

走行時間 43分

(飛行機・電車) 鹿児島空港 → 羽田 → 前橋市

7:53	ホテル出る	11:45	空港 出る
8:36	鹿児島空港 着	13:00	羽田 着 宅急便 ¥2350-
9:07	自転車分解完了	15:36	上野 出る 電車 ¥4190-
	朝食 ¥1000-	16:59	高崎 出る 食事 ¥1220-
		18:15	自宅 着

一週間の旅が終わろうとしている。一日出勤の為に短くなったとはいえ、出発地点と終了地点は予定通りになった。毎日、苦しい苦しいと思いながらも走り続けてここまで来た。その間、この地で生活している人々を見て、自由に走り廻っている自分が幸福に思えた。人家がありそうもない所に、何故か人家があり、生活がある。生活している事自体が幸せなのかも知れない。

昨夜は、国分市のホテルで過ごした。飛行機がお腹を見せてゆっくりと滑っていく街。そんな街で最後の晩を過ごした。夕食は近くのレストランで、今回の旅を振り返りながらとった。俺ほど淋しい男がいるだろうかと思いつつ。たとえ、自転車で下関から鹿児島まで走ったからと言って何になる。

旅の終わりで、疲労の為になかなか寝つけなかった。ビデオの見過ぎもあるのかも。

今朝、目覚めたら7時。久しぶりに寝坊した。でも、気持ちの良い目覚めだった。この旅では、殆ど毎日6時に起床して、7時には走り出していた。

一週間の髭を綺麗さっぱり落として、鹿児島空港に向かう。

鹿児島から東京まで、ほんの一時間程で現実に引き戻されて行く。そして、羽田から都内にモノレールで向かう自分が、映画の中の植村直巳の様に思えた。





1229

平家滅亡の地  
壇の浦  
(関門海峡)



耳なし芳一堂



赤間神宮

御祭神: 安徳天皇

## 高崎山の野生ザル

大分市の西端、標高628mの高崎山には、現在約2000頭のニホンザルが生息し、A・B・C3つの群れに分かれて毎日サル寄せ場に現われ、訪れる観光客との間にほほえましい交歓風景が繰り広げられています。

高崎山には、江戸時代からサルが生息していたといわれています。昭和27年11月当時の大分市長上田保氏(故人)が禅寺万寿寺別院の協力を得てサル寄せをはじめ、翌年3月苦心のすえにサルが集まるようになり、高崎山自然動物園として開園しました。



1231

## 高崎山



堂一茶ノ下



威嚇



水の掻出し



水飲み



0101  
初日  
(南海部郡  
上浦町  
津井)

0101  
上浦町津井



0101  
津久見湾

0101

蒲江町(丸市尾)  
から  
北蒲町  
への大峠峠



0101

宮崎県境

0102

青島神社





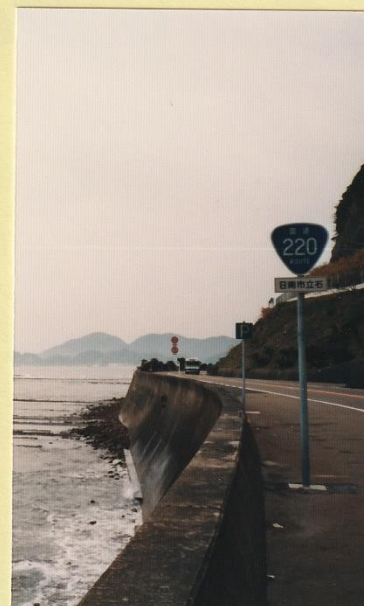
0102 青島の日の出



0102 サボテシ園 (ソテツ)



0102





0102

幸島

(サルのいる島)

0102  
都井岬



0102  
都井岬





0102  
都井岬

0102  
都井岬



0102  
都井岬







0103  
内浦湾

0103  
内浦  
ロケットセンター



0103  
肝属山地

0103  
桜島



0104  
霧島山



0104  
鹿児島空港

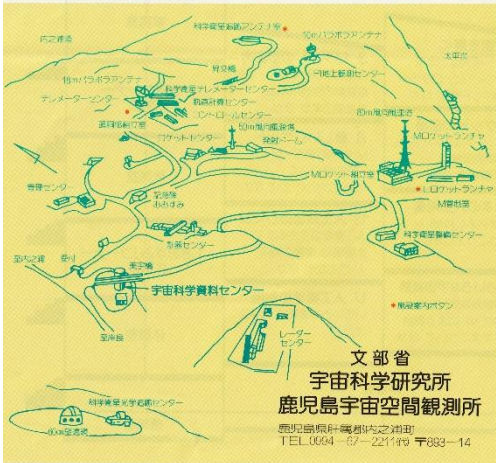




惑星間探査機「すいせい」

この観測所は宇宙科学研究のための施設です。ここでは、宇宙を研究するための観測衛星をのせたロケット、人工衛星の打上げ、またこのために研究開発されたロケットの飛しよう実験などが行われています。

わが国の観測ロケット実験は東京大学が1955年に秋田奥道川沿岸ではじめ、1982年にここ内之浦に移され、以後大きく発展し、1989年文部省宇宙科学研究所の創設にともない、この観測所は同研究所に移管されました。



宇宙科学研究所  
鹿児島宇宙空間観測所  
あんない



M-3S-II-2号機「すいせい」発射

賞

62年 1月 1日

関口 祐司 殿

愛車にまたがり、野を越え、  
山を越え、ひたすら走る君。  
その大いなるチャレンジ精神  
をたたえ、物好きさにあきれ  
つつ、ここに表彰状をおくり  
ます。

ユースホステル青島